

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月2日

上場取引所 大

上場会社名 ミサワホーム中国株式会社  
 コード番号 1728 URL <http://www.misawa-c.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久延 賢次

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総合企画部長 (氏名) 倉田 敦

TEL 086-245-3204

四半期報告書提出予定日 平成24年8月3日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	6,219	28.3	△92	—	△102	—	△69	—
24年3月期第1四半期	4,846	△4.1	△400	—	△417	—	△512	—

(注)包括利益 25年3月期第1四半期 △99百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △451百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△6.01	—
24年3月期第1四半期	△44.44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	18,412	5,493	29.8	476.83
24年3月期	19,405	5,651	29.1	490.47

(参考)自己資本 25年3月期第1四半期 5,493百万円 24年3月期 5,651百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,500	0.1	240	1.3	220	1.0	110	110.8	9.55
通期	31,000	3.6	640	3.3	590	1.0	200	29.5	17.36

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	11,540,180 株	24年3月期	11,540,180 株
25年3月期1Q	18,562 株	24年3月期	18,562 株
25年3月期1Q	11,521,618 株	24年3月期1Q	11,523,061 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	8
4. 補足情報 .....	9
生産、受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の景気刺激策等の効果により企業収益の改善が進んでおります。しかしながら、欧州債務危機の問題や円高の長期化、消費税増税法案審議入り等により、景気の先行き感是不透明な状況で推移いたしました。

住宅業界におきましては、住宅ローンの金利優遇や住宅エコポイントなどの政策支援等により、新設住宅着工戸数が前年対比で増加し堅調な動きを見せておりますが、全国的に不動産価格が下落傾向である等、業界を取り巻く環境は厳しいものとなっております。

こうした状況の中、当社グループは岡山・広島・山口に住宅展示場を新設し、快適で安心・安全な住まいの提案・訴求していくとともに、各地で商品の現場発表会「ウチ・コレ発表会」等を開催して需要喚起に努めるなど、受注拡大に向けた取組みを推進してまいりました。

また、不動産会社を対象とした「MRDフォーラム」を開催し、地元の不動産会社との提携を再強化するための活動にも注力してまいりました。

これらの活動の結果、当連結会計年度の業績は売上高6,219百万円（前年同期比28.3%増）、営業損失92百万円（前年同期は400百万円の営業損失）、経常損失102百万円（前年同期は417百万円の経常損失）、四半期純損失69百万円（前年同期は512百万円の四半期純損失）となりました。

なお、住宅業界における季節的要因として、新学期・新年度を控えた2～3月度に売上が集中する傾向があります。これにより第1四半期の売上高は、他の四半期に比べ相対的に低い水準となっております。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①住宅請負事業

住宅請負事業部門の売上は、戸建住宅（木質、鉄骨、M J - w o o d）と、賃貸用のアパート等の請負によるものであります。

当第1四半期連結累計期間は、販売棟数が増加したことにより、震災により住宅部材の調達に影響を受けた前年同期に比べて増収増益となりました。

この結果、売上高3,717百万円（前年同期比76.0%増）、セグメント利益23百万円（前年同期は187百万円の損失）となりました。

#### ②分譲事業

分譲事業部門の売上は、建売分譲住宅、住宅用地の販売及び中古再生事業によるものであります。

当第1四半期連結累計期間は、分譲建物・土地ともに小型化が進んだことにより、減収となりましたが、一方で前期において行った販売価格の見直しによる在庫回転率及び利益率の向上により、利益面においては改善が見られました。

この結果、売上高1,302百万円（前年同期比12.6%減）、セグメント損失1百万円（前年同期は47百万円の損失）となりました。

#### ③ホームイング事業

ホームイング事業部門の売上は、増改築、インテリア、エクステリアなどの請負によるものであります。

当第1四半期連結累計期間は、エコリフォーム（太陽光発電、省エネ住宅設備等）を中心としたキャンペーン展開などにより受注拡大の取組みをしてまいりましたが、若干の減収となりました。一方、利益面においては、発注体制の見直し等の利益率改善努力により増益となりました。

この結果、売上高934百万円（前年同期比5.1%減）、セグメント利益34百万円（前年同期比7.4%増）となりました。

#### ④その他事業

その他事業部門の売上は、借上アパートの転貸による家賃収入や不動産の仲介料収入及び損害保険の代理店収入などによるものであります。

当第1四半期連結累計期間は、仲介料収入の増加などにより、増収増益となりました。

この結果、売上高264百万円（前年同期比2.1%増）、セグメント利益4百万円（前年同期は33百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結累計期間末の資産は前連結会計年度末と比較して993百万円減少しました。これは主に未成工事支出金が403百万円、未成分譲支出金が240百万円それぞれ増加し、一方で現金預金が1,798百万円減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して836百万円減少しました。これは主に買掛金が320百万円、工事未払金が202百万円、引当金が195百万円、長期借入金が203百万円それぞれ減少する一方、短期借入金が137百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は、主に利益剰余金の減少により、前連結会計年度末と比較して157百万円減少しました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、平成25年3月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成24年5月10日発表の平成24年3月期決算短信の予想数値から変更はございません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる当第1四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	4,823,222	3,024,977
完成工事未収入金	228,099	284,211
売掛金	755	1,086
分譲土地建物	4,962,908	5,009,008
未成工事支出金	1,678,516	2,082,280
未成分譲支出金	1,254,590	1,494,848
貯蔵品	4,783	6,973
その他	750,646	764,817
貸倒引当金	△5,787	△426
流動資産合計	13,697,734	12,667,776
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	760,629	851,551
土地	3,868,623	3,876,731
その他（純額）	80,759	40,975
有形固定資産合計	4,710,012	4,769,259
無形固定資産		
投資その他の資産	62,366	59,419
その他	959,545	938,937
貸倒引当金	△23,778	△22,633
投資その他の資産合計	935,767	916,304
固定資産合計	5,708,146	5,744,983
資産合計	19,405,881	18,412,760

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,751,179	1,430,647
工事未払金	1,073,312	870,674
分譲事業未払金	46,761	54,383
短期借入金	4,945,992	5,083,508
未払法人税等	90,978	7,758
未成工事受入金	2,323,939	2,352,356
引当金	411,719	215,851
その他	1,110,165	1,040,563
流動負債合計	11,754,048	11,055,744
固定負債		
長期借入金	1,206,464	1,002,700
退職給付引当金	427,041	456,177
役員退職慰労引当金	55,500	58,400
その他	311,794	345,798
固定負債合計	2,000,800	1,863,076
負債合計	13,754,848	12,918,821
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,369,850	1,369,850
資本剰余金	886,598	886,598
利益剰余金	3,372,874	3,245,957
自己株式	△4,151	△4,151
株主資本合計	5,625,171	5,498,254
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,860	△4,315
その他の包括利益累計額合計	25,860	△4,315
純資産合計	5,651,032	5,493,939
負債純資産合計	19,405,881	18,412,760

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	4,846,068	6,219,559
売上原価	3,937,819	4,951,457
売上総利益	908,249	1,268,102
販売費及び一般管理費	1,309,192	1,360,967
営業損失(△)	△400,943	△92,865
営業外収益		
受取利息	4,476	4,757
受取配当金	2,870	3,034
受取手数料	5,007	2,187
その他	6,750	10,390
営業外収益合計	19,104	20,369
営業外費用		
支払利息	27,546	25,510
和解金	7,847	3,990
その他	171	218
営業外費用合計	35,566	29,719
経常損失(△)	△417,405	△102,215
特別損失		
固定資産除却損	5	1,053
投資有価証券評価損	84,364	490
ゴルフ会員権評価損	708	—
特別損失合計	85,078	1,544
税金等調整前四半期純損失(△)	△502,483	△103,759
法人税、住民税及び事業税	4,367	4,480
法人税等調整額	5,346	△38,930
法人税等合計	9,714	△34,449
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△512,198	△69,309
四半期純損失(△)	△512,198	△69,309

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△512,198	△69,309
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	60,777	△30,175
その他の包括利益合計	60,777	△30,175
四半期包括利益	△451,420	△99,485
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△451,420	△99,485

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	住宅請負事 業	分譲事業	ホームイン グ事業	その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	2,111,879	1,490,658	984,570	258,961	4,846,068	—	4,846,068
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	142,647	284	142,932	△142,932	—
計	2,111,879	1,490,658	1,127,218	259,245	4,989,001	△142,932	4,846,068
セグメント利益または セグメント損失 (△)	△187,559	△47,116	31,728	△33,833	△236,781	△164,162	△400,943

(注) 1. セグメント利益またはセグメント損失の調整額△164,162千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本部所属の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益またはセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	住宅請負事 業	分譲事業	ホームイン グ事業	その他事業			
売上高							
外部顧客への売上高	3,717,920	1,302,492	934,726	264,420	6,219,559	—	6,219,559
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	237,211	529	237,741	△237,741	—
計	3,717,920	1,302,492	1,171,937	264,950	6,457,300	△237,741	6,219,559
セグメント利益または セグメント損失 (△)	23,081	△1,573	34,063	4,191	59,763	△152,628	△92,865

(注) 1. セグメント利益またはセグメント損失の調整額△152,628千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない本部所属の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益またはセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

##### ①生産実績

当社グループでは、生産実績を定義することが困難であるため、「生産実績」は記載を省略しております。

##### ②受注状況

当第1四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)			
	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同四半期比 (%)
住宅請負事業	4,594,382	104.0	13,147,004	120.0
分譲事業	1,384,286	91.7	1,330,650	102.4
ホームイング事業	934,726	94.9	—	—
その他事業	264,420	102.1	—	—
合計	7,177,815	100.1	14,477,654	118.1

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 前期以前に受注した工事で請負金額が変更となったものについては、受注高にその増減を含めております。

3. ホームイング事業及びその他事業については、施工期間が短く繰越工事量が少ないため、受注高は販売実績により表示しており、受注残高については表示しておりません。

##### ③販売実績

当第1四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	前年同四半期比 (%)
住宅請負事業 (千円)	3,717,920	176.0
分譲事業 (千円)	1,302,492	87.4
ホームイング事業 (千円)	934,726	94.9
その他事業 (千円)	264,420	102.1
合計 (千円)	6,219,559	128.3

(注) 1. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

2. セグメント間の取引については、相殺消去しております。

3. 当社グループの属する住宅業界における季節的要因として、新学期・新年度を控えた2～3月度に売上が集中する傾向があります。これにより第1四半期の売上高は、他の四半期に比べ相対的に低い水準となっております。